

お金は「天からの お小遣い」です

私のいちばん古いお金の記憶は、小学校に上がって、お小遣いをもらうようになったときです。
お小遣いをもらうのは、いつも仏壇の前でした。祖母が仏壇の抽き出しから財布を出し、お金を渡してくれるのです。キラキラの仏壇からお金が出てくるのは、とてもワクワクする瞬間でした。
その印象がよほど心に刻まれているのか、私は大人になつたいまもお、お金はご先祖さまや天からの「お小遣い」だと思っています。いまの会社を経営して二〇年ほどになりますが、この感覚は子どものころからまったく変わっていません。

まわりの人のために、自分がワクワクすることをしたら、天からお小遣いがもらえる。本当にそれが、私のお金に対する正直な気持ちなのです。そして、この感覚でお金に接していると、お金の不安を感じることもなく、日々を暮らすことができます。

私たちの多くは、お金との接し方を両親からきちんと教わることなく、大人になります。たとえば、
「お金は汚いもの」
「幸せはお金では買えない」
こうした制限的な価値観を持っている両親のもとで育つた子どもは、成長すると、やはりお金に対して制限的な価値観を持つようになります。
「お金はがんばった自分へのごほうび」
「お金は幸せを運んでくれる」
こうした自由で豊かな価値観を持っている両親のもとで育つた子どもは、成長するようか。もう、おわかりですね。お金に対してポジティブな大人に成長します。
大切なことは、小さいころに刷りこまれたお金に対する価値観を見つめ直し、もしそれがネガティブなものであれば、解消する必要があるということです。
では、自分の子ども時代を振り返ってみましょう。そして、お金について感じていたことや、教わったことを、思い出してみましよう。



Step 1

あなたが欲しいと思うお金の金額を書いてください。

それは本当ですか？ 心の底から本当に欲しいですか？

Step 2

そのお金を受けとったら、あなたはどんな気持ちになりますか？

Step 3

その気持ちを三分間、感じてください。心の声はなんと言っていますか？

私の心の声は

と言っています

Step 4

「内なる真実の声」をとり戻すために、毎朝、このワークをやってみてください。やがて、あなたが本当に望んでいる豊かさがなんであるかも、自然と湧き上がってくるでしょう。

Point

お金と仲良しな人は「心の声」に素直にしたがう。
お金と仲が悪い人は「心の声」に耳をふさぐ。



Step 1


金徳を積む「八つの習慣」をマスターしましょう。

- ① 毎日、鏡の前に立って、自分自身に笑顔を送る
- ② あなたのまわりにいる人に笑顔で接する
- ③ まわりの人を笑顔にする、自然な心配りをする
- ④ どんな人に会っても笑顔を送り、幸せな気持ちでいる
- ⑤ あなたが持っている豊かさのエッセンスを、毎日惜しみなく活用する
- ⑥ お店などでお金を払うとき、相手に「ありがとう」と言う
- ⑦ 困っている人を見かけたら、積極的に手助けをする
- ⑧ いちばん幸せになってほしい人に、一日一回、その気持ちを伝える

Step 2

あなたが金徳を積んでいる兆し（サイン）に気づきましょう。

- ① あなたのまわりに幸せそうな顔をした人が増える
- ② 人から誘われる回数が増える
- ③ 人に褒められることが多くなる
- ④ 出会う人が変わり、豊かな人がまわりに増える
- ⑤ 自分のものの見方や考え方が変わる
- ⑥ 新しいチャンスがやってくる
- ⑦ お金に感謝できるようになる
- ⑧ お金の流れが変わる



そして、そのときお金がどんな言葉を返してくれるか、あなたにどんなことを伝えようとしているか、耳をすましてみてください。

1万円札を財布から出し、表から裏までじっくりと眺めてみましょう。
どんなことに気づいたか、書き出してください。

Step 1

素直な気持ちで、お金に言葉をかけてください。

Step 2

想像してください。お金はあなたにどんなことを伝えていますか？

Step 3

